

本部長 上五島地区高等学校を表敬訪問



■中五島高校 表敬



■上五島高校 表敬

自衛隊を 進路選択のひとつに!!



3月16日(水)、長崎地本本部長 江上昌利 1等海佐は、上五島駐在員事務所(所長 赤波江博史 陸曹長)とともに、県立上五島高等学校及び同中五島高等学校を表敬訪問した。訪問に際して、両校長とも大変歓迎して頂き、最近就役した新型潜水艦について興味を示されるなど、終始和やかな雰囲気の中で訪問ができた。自衛隊に対する深いご理解を頂いていることを垣間見ることができ、有意義な時間となった。

上五島駐在員事務所は、両校の学生に対して自衛隊を進路の選択肢のひとつとして認識を深めてもらえるように、引き続き募集広報活動に邁進する所存である。

(上五島駐在員事務所)

令和3年度の集大成!! それぞれの教育隊等へ着隊完了

ご家族と長崎地本の隊員に見送られ元気に出発する若き自衛官たち!!



長崎地本公式HP



長崎地本公式Twitter



長崎地本公式Instagram

長崎地本(本部長 江上昌利 1等海佐)は、3月24日(木)〜4月5日(火)までの間、約300名の新入隊員を、それぞれの教育隊等へ引率した。

この着隊業務は、年度を通じて広報官等が地道な募集広報活動により、募集対象者を「フォロー」してようやく入隊までたどり着いたものであり、長崎地本としても、募集業務における令和3年度の集大成である。

着隊地域は、北は埼玉県熊谷市に所在する航空自衛隊熊谷基地から、南は鹿児島県霧島市に所在する陸上自衛隊国分駐屯地と九州の南端まで広範多岐に渡った。

それぞれの新入隊員が移動する中、一部の新入隊員は、長崎地本本部を出発点とし、貸し切りバスに乗り合わせ、ご家族の方々や友人、本部長以下の地本部長に見送られ出発した。

人生における新たな門出に際し、「頑張ってください」と笑顔を見せる一方で、ご家族のもとを離れる寂しさから、抱擁し合い涙を浮かべる場面も散見された。

バスは、長崎地本本部横を出発し、大通りから、ながさき出島道路のトンネルに進入し見えなくなるまで見送られ、着隊先へ前進した。途中の車内において、寂しさや不安は、同乗する仲間とのふれ合いや、会話によりいつのまにか消え、決意を新たに「頑張ろう。」という強い意志が感じ取られた。

長崎地本は、令和4年度も「部員一丸」、県民とのかけはしとなるべく日夜、募集活動に全力で取り組んで参ります。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

(募集課)



■ご家族・本部長等の見送り



■着隊・受付開始

国家を守る、公務員。
自衛官募集中



就職セミナー 合同会社説明会

3月5日(土)、佐世保出張所(所長 田代教 1等海尉)は、長崎県立大学佐世保校において株式会社マイナビが主催する「就職セミナー 合同会社説明会」に参加した。



佐世保出張所は、参加した学生4名(男性2名・女性2名)に対して自衛隊の任務、仕事内容、各種採用試験について説明を行った。自衛隊に興味はあるものの、自衛隊と身近に接する機会がなかった様子の学生が多く、自衛隊の組織や体力について不安を感じている方が多かった。説明に当たった広報官は、自己の体験談を中心に具体的な説明を学生に行い、入隊への不安の解消を図った。今回の説明会では、女性の聴講希望者が多く、自衛隊への関心の高さを感じた。

佐世保出張所は、今後もあらゆる機会を通じて自衛隊のアピールを行い、ひとりでも多くの志願者獲得に尽力してゆく。

(佐世保出張所)

3高校の進路ガイダンスに参加して!

長崎募集案内所(所長 坂井粘准陸尉)は、3月15日(火)、私立瓊浦高等学校においてライセンスアカデミーが主催する進路ガイダンスに参加した。

会場には長崎県内の大学、短期大学、専門学校等から講師が集まり、進学を希望する1年生を対象に講義を行った。自衛隊ブースには6名の学生が来訪し、長崎募集案内所広報官が実施した「自衛官ってどんな仕事?」の講義を熱心に受講していた。参加した学生は、1年生ということもあり、自分の将来に関して、はつきりと決めていない年頃であると思われるが、今回の講義により、将来の進路として自衛官の選択肢を視野に入れてもらえることに期待する。

長崎募集案内所は、引き続き学校広報に重点をおき、自衛隊への理解の促進と自衛官志願者獲得の拡大に尽力する所存である。

(長崎募集案内所)



琴海地域事務所(所長 赤波江真治 准陸尉)は、3月18日(金)、長崎県立西彼農業高等学校においてライセンスアカデミーが主催する進路ガイダンスに参加した。

本説明会は、将来就職又は進学を検討している2・3年生を対象としたものであり、琴海地域事務所が行う自衛隊の説明会には2年生1名と3年生5名が参加した。

参加した学生は、説明を聞くまでは進路をはつきりと決めていなかった様子であったが、広報官の説明会を聞いて自衛隊への興味が湧いたようであった。特に職種が豊富さと本人の能力、性格、適性、希望を考慮して職種を決定することについて興味津々であった。

琴海地域事務所は、これからも進学・就職希望者のニーズに応えられるような自衛官募集の案内に心掛け、自衛隊の魅力をしつても伝えられるよう努めていく。

(琴海地域事務所)



島原地域事務所(所長 堀一彦 1等陸尉)は、3月17日(木)、長崎県立島原翔南高等学校で開催された校内企業説明会(同校主催)に参加した。

本説明会は例年同校の卒業生である現職の自衛官がリクルーターとして、入隊から現在までの自衛隊生活を在校生に説明していたが、今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為にリクルーターによる説明に代えて島原地域事務所広報官が説明を実施した。

本説明会では、学生に対して限られた時間の中であったが自衛隊の魅力や採用試験等について説明を行い、学生は真剣に耳を傾けメモを取っていた。

また、学生との質疑応答では、「海上自衛隊と海上保安庁との仕事の違いは何ですか?」「仕事で一番きつかった事は何か?」等の質問に対し、広報官はそれぞれの経験談とユーモアを交えて回答すると自衛隊に対してのイメージが変わり、興味を持ってくれた様子であった。更には学生だけではなく教員の方々からも航空学生や防衛医科大学(看護科)についての質問を頂き、教員の方々にも自衛隊をアピールする事ができた。

島原地域事務所は、今後も地域に密着した地域事務所として、募集広報活動を積極的に実施して自衛隊の認知度と理解度の更なる向上を図り志願者の増加に繋がるよう引き続き努めていく。

(島原地域事務所)



長崎地本は、予備自衛官等雇用企業との連携強化に努め、訓練等に出頭しやすい環境作りや予備自衛官等制度の理解促進を引き続き図ってまいります。(援護課)

**予備自衛官等
協力事業所認定証を交付**

長崎地本(本部長 江上昌利 1等海佐)は、3月14日(月)、予備自衛官等協力事業所のうち防衛大臣から認定された企業及び本部長が認定した企業に対し、認定証を交付した。

本制度は、予備自衛官等の雇用を通じ、社会貢献を果たしていることを防衛省として認定・称揚する制度です。今年度は防衛大臣認定1社、本部長認定1社、計2社を新たに認定させていただきました。

Yショップ南陽堂(防衛大臣認定、島原市)と株式会社社長里建設(本部長認定、諫早市)は、両社とも長年にわたり即応予備自衛官を雇用しており、令和2年7月豪雨の際には災害派遣に出頭させるなど予備自衛官等制度に深い理解と協力を得ている。

認定証を受け取った企業代表からは、「認定していただきありがた。災害派遣等、即自として力を尽くす社員をこれからもできる限りサポートしていきたい。」という言葉を頂いた。



高城神社にて入隊予定者

安全祈願



諫早市防衛協会は、3月18日(金)、諫早市高城神社において、自衛隊入隊予定者及び防衛大学校入隊予定者に対し安全祈願を実施した。来賓として諫早市長代理 諫早市生活環境部長 田川浩史様をはじめ、隊友会 諫早市支部長 山口忠範様、自衛隊家族会 諫早地区協議会 会長 田崎洋美様が参加した。

安全祈願は降りしきる雨の中、神社本殿において神事に続き、防衛協会会長、入隊予定者代表及び来賓による玉串奉奠が厳かに行われ安全祈願は終了した。

防衛協会 永江正澄会長は、入隊予定者及び入隊予定者に対して「今後の自衛隊生活において皆様が国家国民のため安全に活躍できることを祈願するとともに、立派な自衛官になってほしい。」と熱く激励した。

(諫早地域事務所)

入隊予定者激励会に参加

■記念品贈呈

■大臣からのメッセージを拝聴



小値賀町にて開催

■小値賀町集合写真

長崎地本(本部長 江上昌利 1等海佐)は、3月3日(木)小値賀町役場、3月16日(水)新上五島町役場主催の入隊予定者激励会に参加した。

入隊予定者激励会には、それぞれの地区の後援会地区会長の方々も参列され、新型コロナウイルス感染症対策を万全にした上で執り行われた。

それぞれの町長から激励の言葉を頂くとともに、防衛大臣からの激励ビデオメッセージ等も披露され、参加した入隊予定者は少し緊張した様子で聴き入っていた。また、入隊予定者の代表による決意表明では、「感謝の気持ちを忘れず、立派な自衛官になれるよう頑張ります！」と大変力強い言葉が飛び出していた。

上五島駐在員事務所は、入隊予定者が安心して入隊が出来るように引き続き全力でサポートしていく所存である。

(上五島駐在員事務所)



新上五島町にて開催

■新上五島町集合写真

令和3年度 募集相談員会同 開催



長崎地本(本部長 江上昌利 1等海佐)は、3月12日(土)、本部庁舎において、令和3年度募集相談員会同を実施した。会同では、今年度新たに自衛官募集相談員として委嘱された方々に対して、自衛隊の概要及び募集状況を説明し、参加された4名の新規募集相談員との情報共有及び連携強化を図った。

当日は、募集課長が自衛隊の概要及び任務を、募集班長が募集状況を、企画班長が募集広報及び相談員の概要並びに最新の試験制度を、それぞれ説明した。

その他、教育隊の様子を動画により紹介する等、より身近に、リアルに自衛隊を知っていただくことができた。

長崎地本は、今後も更なる自衛隊への理解促進や志願者の増大のため、相談員の方々との連携を深めていく所存である。

(募集課)

※自衛官募集相談員とは、自衛官志願者に関する情報の提供、地方協力本部の行う募集広報への支援を通じて、入隊者の確保はもとより、募集活動を通じた防衛基盤の育成に對して、極めて重要な役割を担ってくださっている方々です。現在長崎地本では、元自衛官や隊員のご家族、地域の協力者など、156名の方々を自衛官募集相談員として委嘱しています。

入隊者の声

高等工科学校 入学



世知原中学校出身
高原 美空

私の父は陸上自衛隊で、兄は高等工科学校の生徒です。この2人の姿に憧れ、自衛官になりたいという思いが強くなりました。これまで応援して下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、日々精進してまいります。

航空自衛隊 自衛官候補生 入隊



西彼農業高校出身
山下 龍祐

私は航空自衛隊の自衛官候補生課程教育隊に入隊します。幼い頃から自衛官という職業に少しずつ興味を持ち始め、高校生で夢から目標になった自衛官という職業に就くことができました。自衛隊ではきつと、身体的にも精神的にも辛いことがたくさんあると思いますが、「人を救える人になる」という志と、これまで目標達成のために培ってきた経験を胸に、自衛官として、人としての責務を全うしていこうと思います。

陸上自衛隊 一般曹候補生 入隊



創成館高校出身
白木 楓喜

この度、陸上自衛隊の一般曹候補生として入隊することができ、大変うれしく思います。自衛隊では厳しい訓練もあると思いますが、それを乗り越えられる体力や精神力を身に付けていき、その中で友といえる仲間と切磋琢磨して頑張っていきたいと思っております。

陸上自衛隊 一般曹候補生 入隊



純心女子高等学校出身
村川 巴菜

この度、陸上自衛隊の一般曹候補生に入隊することが出来て嬉しく思います。この春から実家を離れた生活になり、不安な気持ちもありますが、持ち前の明るさを活かし、周りの同期達と励まし合いながら、国民をしっかりと守ることが出来る立派な自衛官になれるよう訓練に励んでまいります。

陸上自衛隊 一般曹候補生 入隊



諫早商業高校出身
佐伯 月野

私は、夢だった陸上自衛隊に一般曹候補生として入隊することができ、大変うれしく思います。入隊を前にして、期待と不安が胸いっぱいですが、誠心誠意国のために全力を尽くす所存であります。これまで支えてくれた家族や友達のためにも、恩返しができるよう頑張ります。

陸上自衛隊 自衛官候補生 入隊



上五島高校出身
尾上 龍馬

この度、陸上自衛隊の自衛官候補生として入隊することが出来て大変嬉しく思います。小さな頃から自衛官に憧れており、東日本大震災において災害派遣で活躍している自衛官の姿を見て自衛官になることを決めました。4月からは今までの違う生活が始まります。今まで支えて下さった方々に感謝をし、全力で頑張っていきたいです。

海上自衛隊 一般曹候補生 入隊



鎮西学院高校出身
牟田口 采音

この度、海上自衛隊の一般曹候補生として入隊することができ、大変うれしく思います。中学生の頃から夢見てきた国を防衛する頼もしくて、誇らしい自衛官になるうえで、部活動で身に付けた忍耐力や元気を活かして頑張りたいと思っております。

海上自衛隊 一般曹候補生 入隊



対馬高校出身
荒木 泰陽

この度、海上自衛隊の一般曹候補生として入隊する事になりました。周りを海で囲まれた対馬で育ち、海に係る仕事にしたいと思っていたので大変光栄です。これから、未知の事を学ぶことや団体生活に多少の不安がありますが、自分で選んだ道に自信をもって、早く国民に信頼される自衛官になれるよう頑張りたいと思っております。

人事異動

◆転入 令和4年3月14日付

◎自衛隊体育学校朝霞から
大村地域事務所長へ



1等陸尉 浦田 秀明

◎第3高射特科群(奄美)から
五島駐在員事務所長へ



陸曹長 功 将 浦松

◎西部方面後方支援隊(飯塚)から
本部 総務課兼最先任准准曹へ



陸曹長 孝 秀島

◎相浦駐屯地業務隊(相浦)から
相浦駐屯地業務隊(相浦)から
佐世保出張所へ



陸曹長 貴 彦 高橋

◎相浦駐屯地業務隊(相浦)から
佐世保出張所へ



1等陸曹 彰 納所

◎第22航空群(大村)から
大村地域事務所へ



1等海曹 美 ゆき 片田

◎第7高射特科群(竹松)から
島原地域事務所へ



1等陸曹 福 士 宮本

◎第15高射特科連隊(八重瀬)から
老岐駐在員事務所へ



1等陸曹 美 武 柳澤

◎第7高射特科群(竹松)から
本部 援護課へ



2等陸曹 陽 司 大瀧

◆転入 令和4年4月1日付

◎補給統制本部(十冬)から
本部 総務課長へ



防衛事務官 真 太郎 江嶋

◎愛媛地方協力本部(松山市)から
本部 援護課長へ



防衛事務官 正 浩 竹島

◎飯塚駐屯地業務隊(飯塚)から
本部 援護課へ



防衛事務官 隆 康 島田

◎西部方面総監部(健軍)から
本部 援護課へ



防衛事務官 晃 一 川上

◎宮崎地方協力本部(宮崎市)から
本部 総務課へ



防衛事務官 一 郎 稲澤

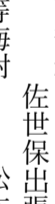
◎陸上幕僚監部(市ヶ谷)から
本部 総務課へ



防衛事務官 未 裕 三枝

◆転入 令和4年4月15日付

◎護衛艦「ありあけ」から
佐世保出張所長へ



1等海尉 輔 良 松本

◆新規採用 令和4年4月1日付

◎本部 募集課へ



防衛事務官 己 昂 松本

◎本部 総務課へ



期間業務隊員 二 誠 山本

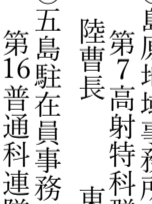
◎五島駐在員事務所へ



期間業務隊員 徳 弥 川道

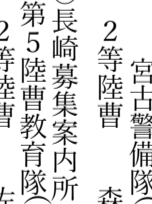
◆転出 令和4年3月14日付

◎大村地域事務所長から
竹松駐屯地業務隊(竹松)へ



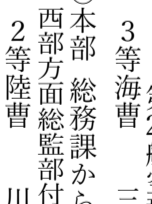
1等陸尉 志 保 志 中村

◎琴海地域事務所長から
第16普通科連隊(大村)へ



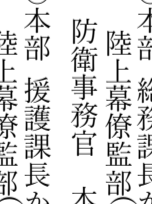
陸曹長 博 恭 中村

◎島原地域事務所から
第7高射特科群(竹松)へ



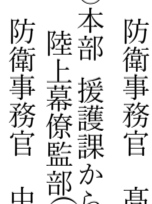
陸曹長 一 郎 幸 東

◎五島駐在員事務所長から
第16普通科連隊(大村)へ



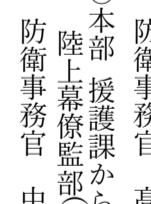
1等陸曹 二 誠 納屋

◎佐世保出張所から
宮古警備隊(宮古島)へ



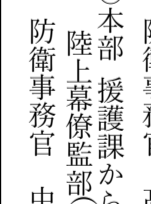
2等陸曹 将 之 森 森本

◎長崎募集案内所から
第5陸曹教育隊(久留米)へ



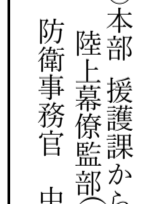
2等陸曹 弘 康 佐藤

◎大村地域事務所から
第22航空群(大村)へ



3等海曹 子 貴 三原

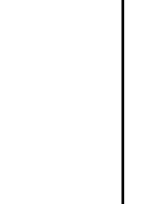
◎本部 総務課から
西部方面総監部付隊(健軍)へ



2等陸曹 吾 将 川 川良

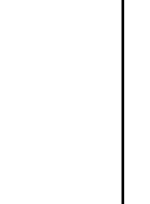
◆転出 令和4年4月1日付

◎本部 総務課長から
陸上幕僚監部(市ヶ谷)へ



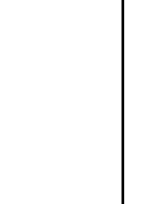
防衛事務官 明 秀 本田

◎本部 援護課長から
陸上幕僚監部(市ヶ谷)へ



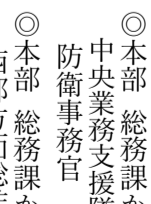
防衛事務官 裕 高 高橋

◎本部 援護課から
陸上幕僚監部(市ヶ谷)へ



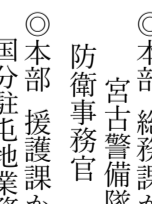
防衛事務官 裕 裕 中村

◎本部 総務課から
中央業務支援隊(市ヶ谷)へ



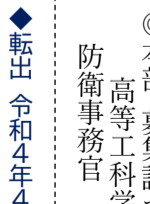
防衛事務官 剛 和 野口

◎本部 総務課から
西部方面総監部(健軍)へ



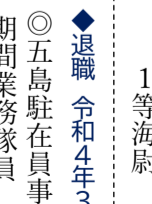
防衛事務官 拓 由 久 由拓

◎本部 総務課から
宮古警備隊(宮古島)へ



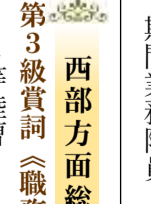
防衛事務官 幸 昌 昌幸

◎本部 援護課から
国分駐屯地業務隊(国分)へ



防衛事務官 平 翔 山本

◎本部 募集課から
高等工科学校(武山)へ



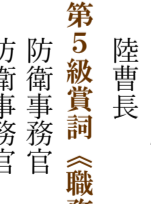
防衛事務官 汰 凌 廣吉

◆転出 令和4年4月15日付



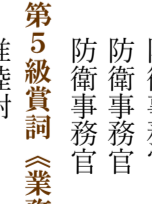
1等海尉 賀 須 横 横須賀

◎退職 令和4年3月31日付



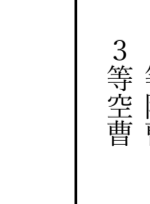
◎五島駐在員事務所
期間業務隊員 山 竹 竹山

◎本部 総務課



期間業務隊員 瀨 黒 黒瀬

◎佐世保出張所長から
第2潜水隊群(横須賀)へ



1等海尉 教 田 田代

西部方面総監表彰

第3級賞詞《職務遂行》

2等陸曹 森本 将之

第4級賞詞《職務遂行》

防衛事務官 裕 高橋
防衛事務官 裕 中村
2等陸曹 吾 将 川 川良

第4級賞詞《業務改善》

1等陸尉 志 保 志 中村
陸曹長 一 郎 幸 東

第5級賞詞《職務遂行》

防衛事務官 剛 和 野口
防衛事務官 拓 由 久 由拓
2等空曹 子 貴 三原

第5級賞詞《業務改善》

准陸尉 坂井 粘
陸曹長 東 幸 一郎
2等陸曹 弘 康 佐藤
3等空曹 衣 侑 平 田